

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	神学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 神学部図書室および学生控え室を、学生会の要望も入れながら整備する。	→学部図書室および学生控え室の整備。	C
2. ティーチング・アシスタント (TA)、ラーニング・アシスタント (LA) の任用による教育研究支援体制を整備する。	→教養科目あるいは専門科目におけるTAならびにLAの任用者数 (2013年度までに1名以上)。	C
3. 研究時間確保のために教養教育科目における専任教員の適切な配置を図る。	→教養教育科目における専任教員担当科目の検証と専兼比率。	C
4. 学院留学および特別研究期間の採用において、公平性を保ちつつ、効率的かつ戦略的方法を構築する。	→学院留学および特別研究期間採用者における選考基準の部内明確化 (2013年度までに)。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目9.0.4	<p>(現状説明) 「基礎演習A・B・C・D」についてLAの導入を検討している。またキリスト教神学・伝道者コースのピア・サポートをどう実現するかも検討課題となっている。また学部専任教員の研究時間を確保するための授業担当における専兼比率については、まずは2011年度の科目担当割当を考える段階で考慮する。</p> <p>学部においては自治組織である「学生会」が、学生控え室の運営など設備に対する学生のニーズを集約し、学生主任を窓口にして学部と調整を行っている。 現在、学部図書室 (大学院と共用) および学生控え室の整備状況は以下のとおりである。</p> <p>■ 学部図書室： 大学図書館への配架分は除く 蔵書冊数 (システム登録済み冊数)： 図書17,706冊 (16,457冊)、雑誌4,899冊 (4,899冊) など 開架状況： 部分開架 (一部書庫について指導教員などの許可が必要)</p> <p>■ 学生控え室： 個人ロッカー： 在籍者数分を用意 (計144個)。</p> <p>■ その他： PC教室・ユーザPC・計20台、発表等利用貸し出しノートPC・計2台 (以上、大学院生と共用)。</p>
☆ その他	

《特定6項目データ》

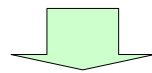
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【神学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考	
指標1	専任教員一人あたりの授業時間数	時間	→	→	→	→	→	大学基礎データ表22参照	
指標2	教学補佐、実験実習補佐・教務補佐、授業補佐の採用数	教学補佐	人	5	5	5	5	5	
		実験実習指導補佐・教務補佐	人	4	4	4	4	4	
		授業補佐	人	0	0	0	0	0	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

★	小項目9.0.4	
	その他	



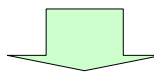
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

★	小項目9.0.4	
	その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

★	小項目9.0.4	
	その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★	その他 (自由記述)	
---	---------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○教育研究環境の更なる充実が期待されます。学院留学及び特別研究期間採用者の学部内選考基準の明確化が望まれます。

【学内委員】

○記述だけでは現状の環境が適切であるのかどうか、神学部としてどう考えているのか、よくわかりません。

○自己点検・評価は、社会にわかりやすく説明し本学の情報を発信する役目もあります。そのためにも現状どういう状況であるのか、要素を視野に置きながらもう少しご説明をお願いします。

○現状説明で課題が示されています、改善すべき事項への記述が必要ではないでしょうか。

○目標に照らして、現状のどこが満たされ、どこに問題があるのかをもう少し具体的に記述してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	なし
---	----

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

9.0.0.S1	個人研究費・研究旅費の額
9.0.0.S2	留学、特別研究期間制度、自由研究期間制度の利用状況
9.0.0.S5	科研費の申請・採択件数
9.0.0.S6	学外からの研究費の総額と一人当たりの額
9.0.0.S11	専任教員の発表論文数
9.0.0.S13	学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文件数
9.0.0.S14	21世紀COEプログラムの採択状況
9.0.0.S15	文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の採択状況
9.0.0.S16	特定プロジェクト研究センター制度の活用状況
9.0.0.S18	校地、校舎、講義室・演習室等の面積
9.0.0.S21	教室の種別数と使用率
9.0.0.S22	PC設置台数
9.0.0.S23	研究設備(文科省補助、学院購入)の整備状況
9.0.0.S24	シャトルバスの利用状況

<個別的な指標>
